



# 西南風 あいさつ実態調査

令和7年3月11日

## 第40号 文責 田中 宏和

正門・北門

### 北方面から登校する児童

通過児童:116人  
あいさつ児童:98人

### あいさつ率

**84.5%**

正門

#### 南方面から登校する児童

通過児童:250人  
あいさつ児童:89人

## あいさつ率

**35.6%**

的場地区の民家敷地内にあつた「須屋校発祥之地」の記念碑が本校に移設されました。民家の取り壊しに伴い更地になるとのことで、合志市歴史資料館を通して本校に連絡がありました。五〇年前の百周年記念に建てられたもののようです。正門入つて右側にあります。ご来校の際には、ぜひご覧になつてください。



登校してくる方面によつて朝のあいさつの様子に差があることは昨年から体感していました。登校時間帯によつても差があります。日々見守つていただいている地域の方々も同じ感覚がおありかもしません。そこで、実態調査をしてみました。

結果は上記の通りです。一回きりの調査ですので偏りがあるのかもしれませんが、概ね体感通りの結果になりました。一番よくあいさつをしてくれるのは、正門と北門の北方面から登校してくる児童です。正門にいますと南方面から登校する児童の方が圧倒的に多いので、私はどうしても南方面を向いて登校指導をしがちなのですが、そんな私を振り向かせるようにはいさつを投げかけてくれます。また、北門は少ないのですが、裏門は元気がいい。いさつを人任せに出来ない状況があります。また、笑顔で返してくれますし、「おじねんせい」の声が遠くから聞こえてきたら、たいてい数人の児童がキヤツキヤ言いながら逃げるよう走ります。ただ、ここは見通しが悪いので気を遣うところです。そして、一番気になるのは、本校の南方面から登校する児童です。友達とのおしゃべりに夢中だつたり、目が合わない児童も多いです。坂を登り切つて疲れているのかもしれません。照れ屋さんが多いのかもしれません。私の「おはようございます！」の声もむなしく、スレッと通り過ぎていきます。幸せなことです。また、もう一つ感じていることは、あいさつができるのは低学年が多いということです。逆に言えば高学年のあいさつがイマイチなのです。思春期上等です。四・五・六年生の皆さん、下級生が驚く、憧れるようなあいさつを見せてやりましょうよ！

あいさつはやらなければその良さがわからないものです。今週の児童集会では今回の結果を子どもたちに伝え、三月中に再調査することを伝えます。ちなみに、帰りの挨拶は一〇〇%近いです。子どもたちが持ち前の力を發揮できるか楽しみですし、なにより確信があります。

オハヨウ!...

スン...

